

2026年5月11日
COBOL PARK 株式会社

COBOL PARK、メインフレーム領域におけるアプリケーション開発高度化を AI で実装する組織「AI 推進室」を設立

COBOL PARK 株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長:高橋 観、以下 COBOL PARK)は、メインフレーム領域におけるアプリケーション保守開発サービスの知見を活かし、当該サービスの高度化を実現するため、2026年4月1日付で、AI 活用に特化した新組織「AI 推進室」を新設いたしました。属人化や人材不足といった課題に対応しながら、お客様の基幹システムの安定運用と段階的なモダナイゼーションを支援します。

1. 新組織設立の背景

メインフレームは、現在も多くの企業の基幹業務を支える重要なシステム基盤として利用されていますが、一方で、業界全体としては、メインフレーム技術者の高齢化・人材不足、属人化した業務知識の継承難といった課題が顕在化しており、その結果品質維持・保証や安定的な運用維持が困難になるだけでなく業務継続リスクの増加や将来的なモダナイゼーションやクラウド移行ができなくなるリスクも高まっています。

これらの課題に対し、AI の活用により、従来の人的リソースに依存したアプローチだけでは対応が難しかった、過去の膨大な情報の解析や作業効率化と品質の平準化を同時に図ることが可能になると考えました。こうした取り組みを組織的に推進するため、業務プロセスの最適化や知識活用、品質向上を担う専門組織として、AI 活用に特化した新組織「AI 推進室」を設立しました。

2. 新組織「AI推進室」の位置づけと目的

本組織は、お客様の基幹システムが稼働するメインフレーム環境を対象に、AI を活用したマイグレーションやアプリケーション保守・開発の高度化などに取り組み、お客様に多様な付加価値を提供する専門組織です。

マイグレーションにおける現行資産の解析や影響調査、設計・テストといった複雑で属人化しやすい工程に対し、AI を適用することで作業の効率化と品質向上を実現し、メインフレーム環境を安定性と確実性を担保しながら、迅速にクラウドやオープン環境へ移行します。

当社は本組織を通じて、こうした取り組みをより専門性の高い体制で支援してまいります。さらに、本組織はマイグレーションで培った知見や技術を、中核となるアプリケーション開発・保守領域の高度化にも活用します。

3. 今後の展開

COBOL PARK は、出資企業との連携を軸に、AI の専門性を有する技術パートナーとも順次協業を進め、メインフレームの保守・開発・モダナイゼーションの各工程において AI を実装したサービスを段階的に提供することで、業界全体が直面する人材不足や属人化の課題解決に資する AI 活用の社会実装を加速していきます。

各社が保有する技術・データ・業務知見を相互に補完しながら、マイグレーション、保守開発などの課題に対して、概念実証(PoC)による検証を踏まえ、開発を実施し提供を開始します。

本件に関するお問い合わせ先

COBOL PARK 株式会社

経営企画本部

経営企画部

E-mail:contact@cobolpark.co.jp

[お問い合わせ | COBOL PARK 株式会社](#)

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。